

# 特別史跡 加曾利貝塚

## 令和3年度 発掘調査現地説明会

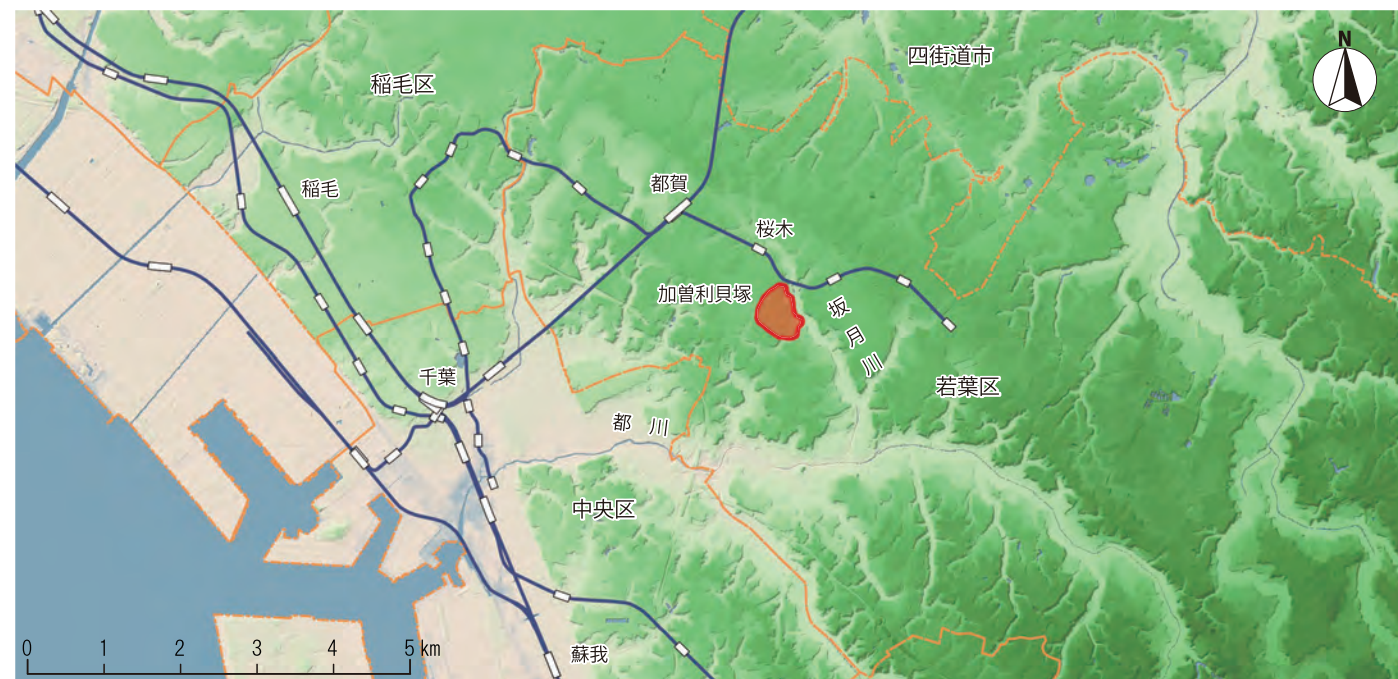


図1 加曾利貝塚位置図 (国土地理院 基盤地図情報より作成)

### 今年度の調査の目的

- ・貝塚の中央部にある中央くぼ地の解明。
- ・貝層と集落の関係の把握。
- ・今後の調査や史跡整備のための情報を得る。

所在地：千葉市若葉区桜木2丁目154番1他  
 調査期間：令和3年8月3日～11月27日  
 調査機関：千葉県埋蔵文化財調査センター  
 調査面積：1,669㎡  
 \*令和2年度に掘削した範囲を拡幅して調査



写真1 発掘調査の様子

### 発見された遺構と遺物

遺構：竪穴住居跡〔縄文時代中期・後期〕、溝、柱穴、貝層〔後期〕

遺物：縄文土器〔中期・後期・晩期〕  
 土製品（土偶・耳飾り）  
 石器（石鏃・石剣・石斧・磨石）  
 石製品（翡翠の玉）

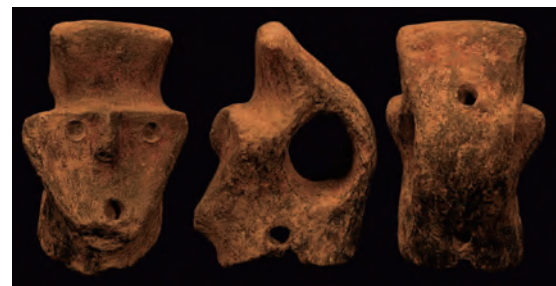


写真2 貝層から出土した土偶の頭部

# 特別史跡 加曾利貝塚

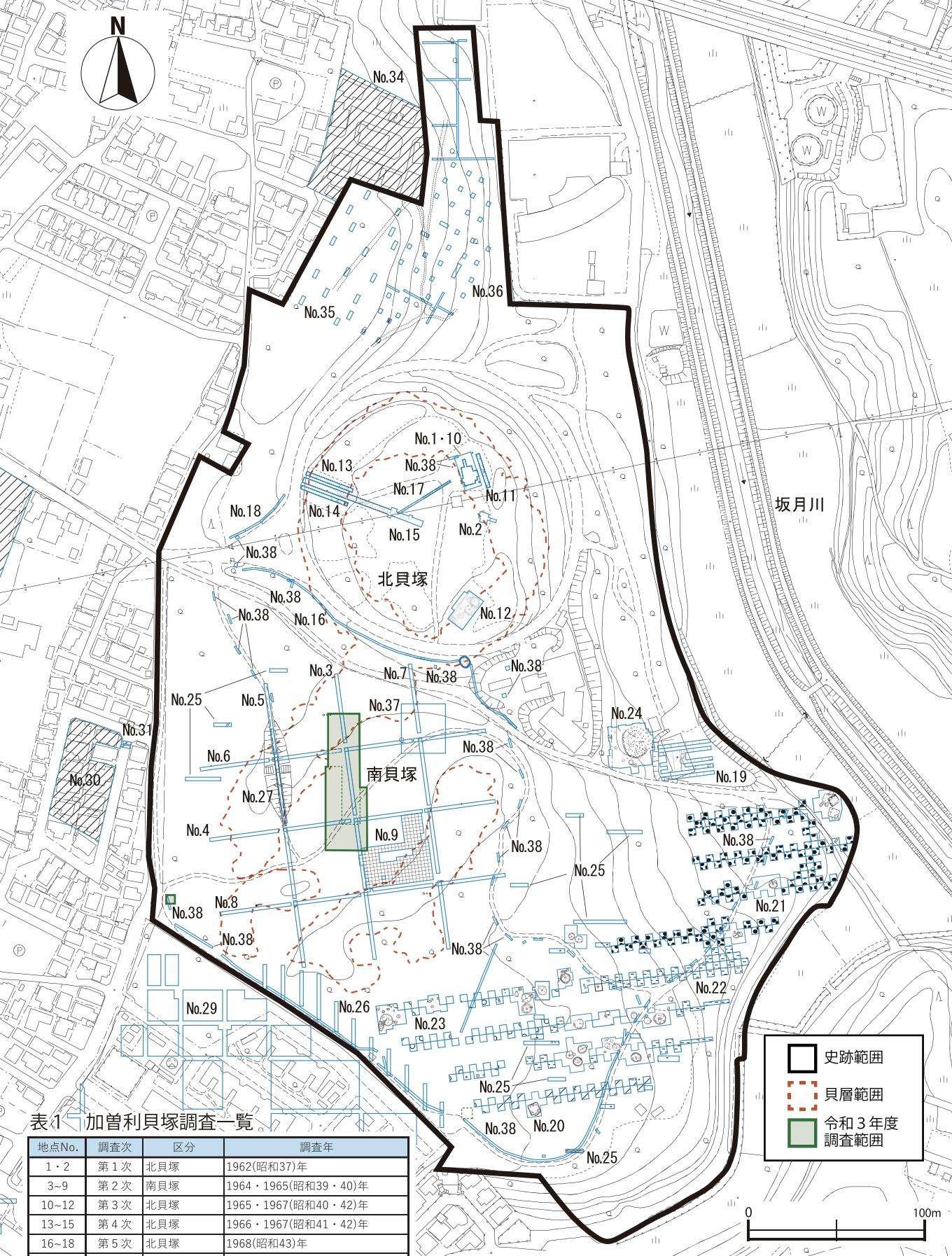


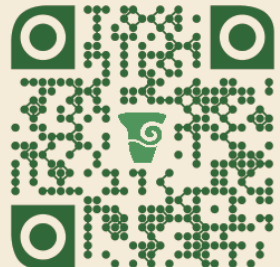
図3 調査地点位置図 (地点No.32・33は範囲外)

表1 加曾利貝塚調査一覧

地点No.	調査次	区分	調査年
1・2	第1次	北貝塚	1962(昭和37)年
3~9	第2次	南貝塚	1964・1965(昭和39・40)年
10~12	第3次	北貝塚	1965・1967(昭和40・42)年
13~15	第4次	北貝塚	1966・1967(昭和41・42)年
16~18	第5次	北貝塚	1968(昭和43)年
19	第6次	東傾斜面	1968(昭和43)年
20~23	第7次	東傾斜面	1970~1973(昭和45~48)年
24	第8次	東傾斜面	1973・1974(昭和48・49)年
25	第9次	南貝塚 東傾斜面	1986~1988(昭和61~63)年
26~28	第10次	南外縁部 南貝塚 東傾斜面	1989・1990(平成元・2)年
29	第11次	南外縁部	1984(昭和59)年
30~33	第12次	西外縁部	1977・1978・1980・1989 (昭和52・53・55・平成元)年 1983・2013・2014
34~36	第13次	北外縁部	(昭和58・平成25・26)年
37	第14次	南貝塚	2017~2019(平成29~令和元)年
38	第15次	南外縁部ほか	2019・2020(令和元・2)年

### 「耳より情報」

これまでの発掘調査の経過を記録した調査日誌や過去の現地説明会資料を見たい方は、こちらのQRコードから見ることができます。



発行者 千葉市教育委員会  
 生涯学習部 文化財課  
 発行日 令和3年11月27日



令和3年度発掘調査の概要

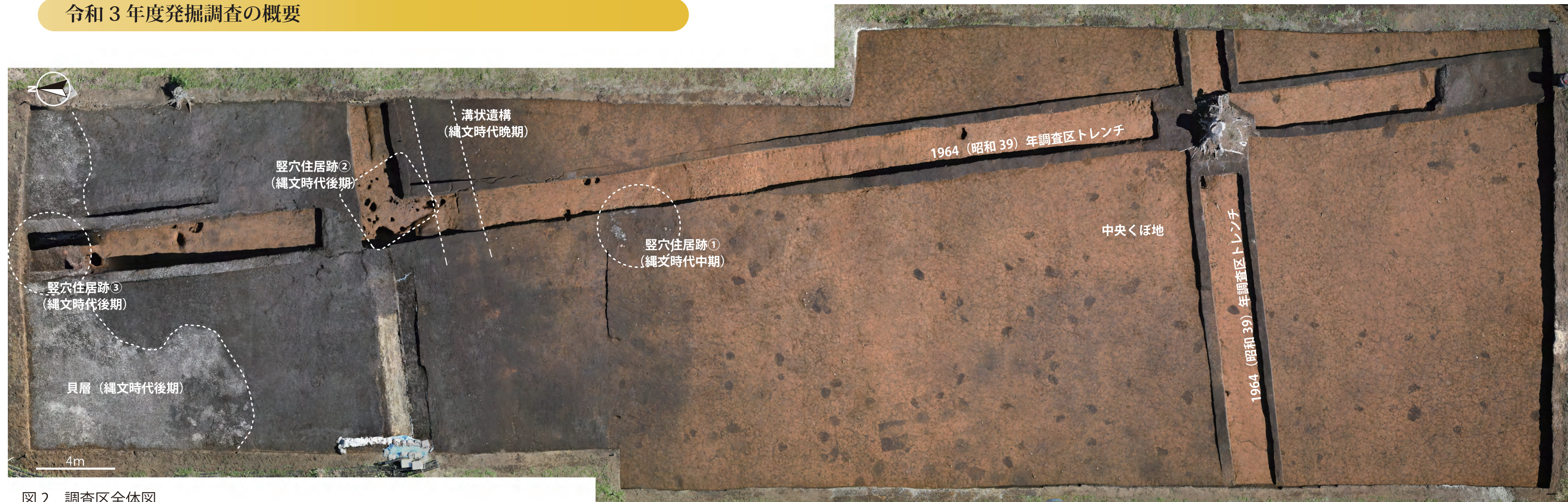


図2 調査区全体図

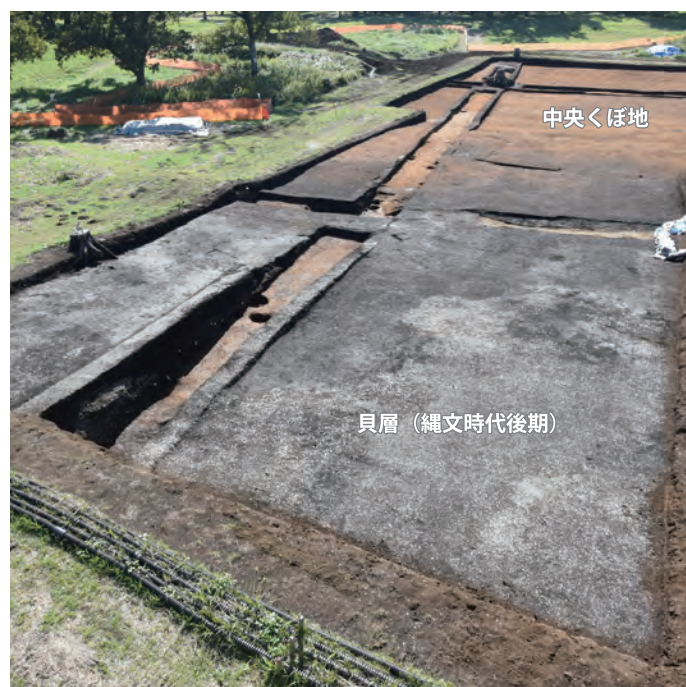


写真3：調査区俯瞰写真（北から）

中央くぼ地は貝層の上面と比べて2.5mほど低くなっています。くぼ地の成因はまだはっきりしませんが、縄文人が土を削った可能性があります。



写真4：縄文時代後期の貝層と出土した土偶の頭部

貝層は縄文時代後期に形成されたもので、焼けた土を伴う生活面が2面確認されました。貝層の下からは竪穴住居の跡も見つかっています。

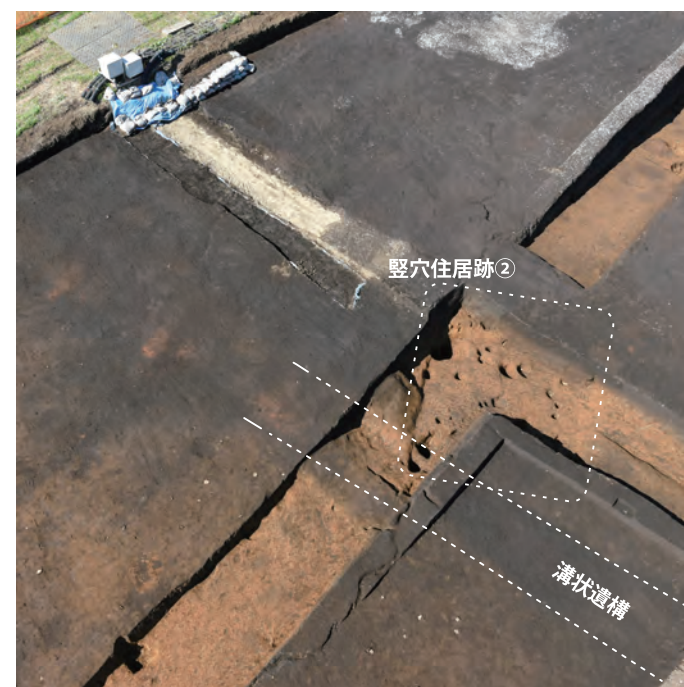


写真5：竪穴住居跡と東西に走る溝状遺構

縄文時代後期につくられた竪穴住居が使われなくなり、縄文時代晩期になって、その上に溝状の遺構が掘られました。竪穴住居跡には柱の穴もいくつか確認されています。



写真6：主な出土遺物

中央くぼ地からは縄文時代晩期の土器や石器が出土しています。中でも祭祀に用いられたと考えられている石剣や石棒の存在が目立ちます。